

漁獲情報収集管理事業

鹿熊 信一郎・輿崎 麗*1・金城 すが子*2

1. 目的および内容

本県周辺漁業資源の適切な管理を行うため、基礎となる漁獲統計データの収集・管理を行う。また、効率的な情報収集及び利用システムの開発を行う。

本事業を実施するにあたり、毎月の漁獲記録が保存されたフロッピーディスクや、セリ帳を提供していただいた関係漁協には厚くお礼申し上げる。

2. 材料及び方法

販売業務（セリ帳集計）にオフィスコンピューター（オフコン）を導入している漁業協同組合を対象に、毎日の販売データをフロッピーディスクに保存してもらい、それを漁獲統計の資料としている。この作業は1989年1月以降継続して実施している。また、オフコンを持たない漁協については、水産試験場に

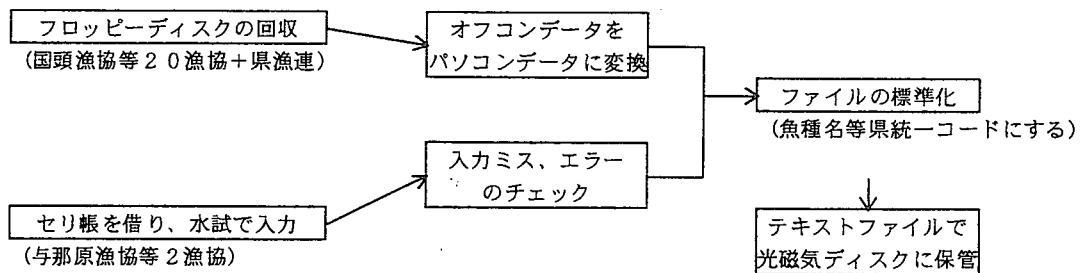
おいてパソコンにより集計する。この作業のおよその流れを図1に示した。

3. 結果及び考察

22の漁協・漁連市場の情報を収集・保管した。データは、ジャストシステム社の「五郎」及びマイクロソフト社のアクセスでデータベース化した。市場別、日別、魚種（約300項目）別、漁獲量、漁獲金額などが入力されている。

沖縄県水産試験場漁獲統計利用要領にもとづき、県の水産行政や普及機関がパソコン通信やFAXによって情報を入手できるようシステムを改善した。

今年度は、研究室内及び水産試験場内のいくつかのパソコンを簡易型LANで結び、データを効率的に利用できるようにした。



データの収集、入力はオンライン化等により効率化が可能

2. 漁獲情報の利用

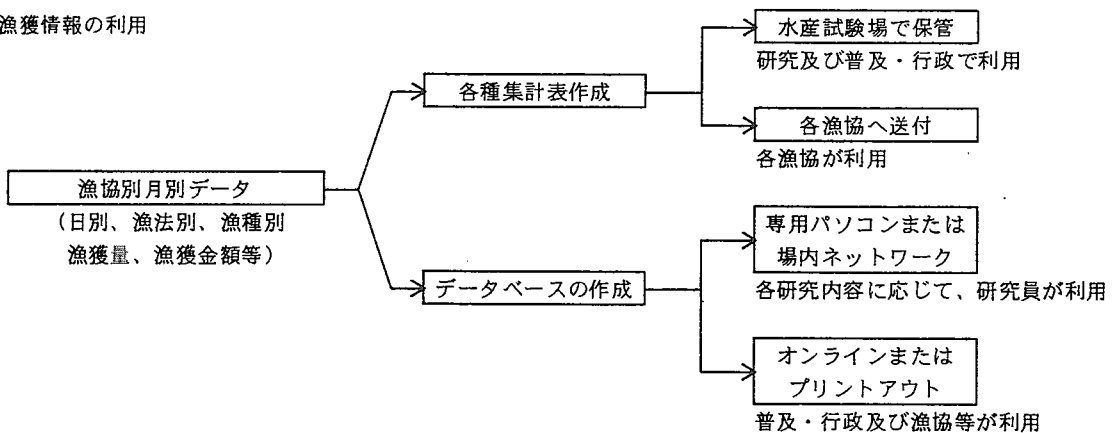


図1 市場情報収集・整理・利用フロー図

*1非常勤職員 *2非常勤職員